

経営比較分析表（令和5年度決算）

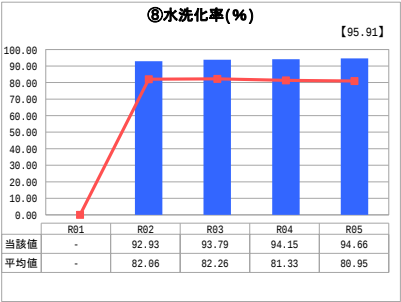
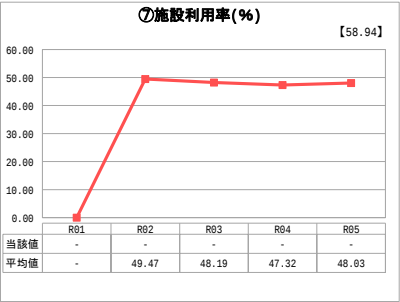
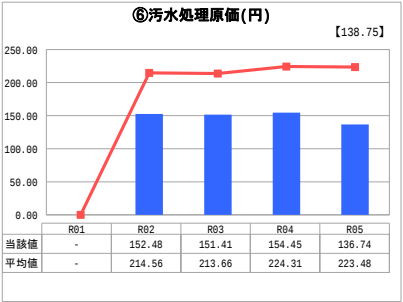
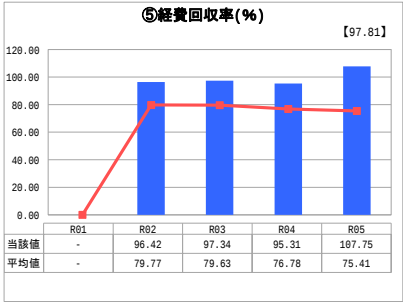
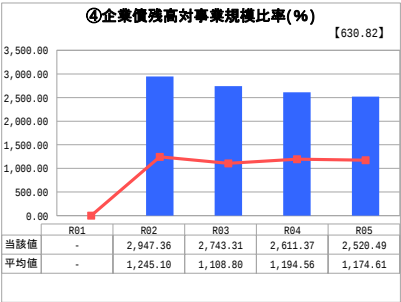
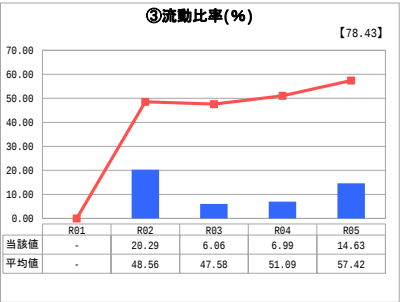
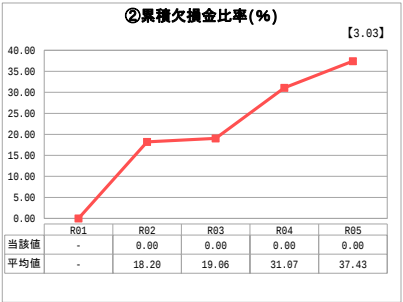
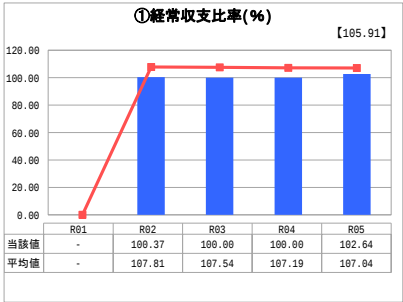
兵庫県 中央市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	50.58	23.33	72.11	2,750

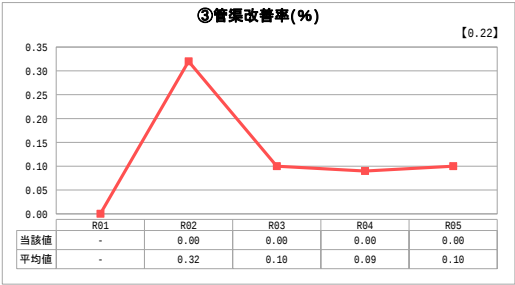
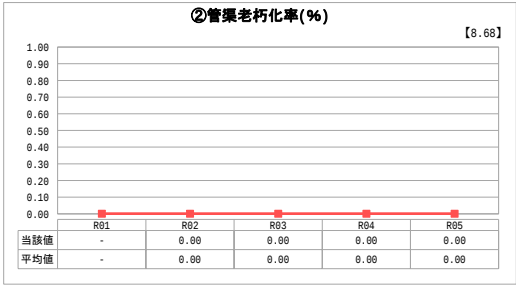
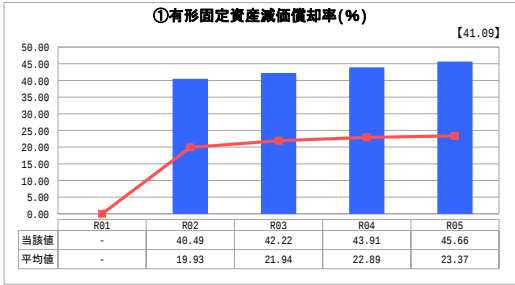
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,572	658.54	52.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,000	4.05	1,975.31

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値） 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、100%となっているが、一般会計からの繰入を行ったことによるものである。
③④流動比率の値が類似団体と比較しても低く、また、企業債残高対事業規模比率が高くなっているのは、当初の下水道施設整備に多額な費用がかかり、その地方債借入額が高額であることが影響していると考えられる。
⑤⑥汚水処理原価は類似団体平均を下回っており、結果的に経費回収率が類似団体平均よりも高くなっている。処理場を有せず、すべてを流域下水道に接続していることから、効率的に経営できているものと考えられる。
⑧水洗化率は類似団体平均を上回っており、良好と言える。

2. 老朽化の状況について

管路老朽化率は低いが、マンホールポンプや計器などの機器類の償却が進んでおり、計画的な機器更新が必要となっている。今後は老朽化の進行とともに修繕料の増加が懸念される。

全体総括

令和2年より地方公営企業法の財務規程適用により、消費税等の節税効果による経費節減が見込めた一方で、他会計からの繰入への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減に向け、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。